



TOYAMA PREFECTURAL REPORT

県広報

とやま

12

1993 No.299

「ジャズの本場で 生演奏」

ひとアスとやま
INTERVIEW
KATSUYUKI OKAMOTO



フィールド・ハラール・ジャズ・オーケストラ代表
岡本 勝之さん



「昨年の8月、全日本社会人ジャズコンテストで優勝し、今回、アメリカで行われたジャズ祭に招待されました。楽しんで演奏しようというこちらの気持ちを素直に受け入れてもらえてとても感激しましたね。」と、アマチュア・フルバンド「フィールド・ハラール・ジャズ・オーケストラ」の代表岡本勝之さん。20年前に結成して以来、砺波市を中心に活動を続け

今年の9月には22名のメンバーでジャズの本場アメリカに渡り、世界有数の伝統を誇る「モンタレー・ジャズ・フェスティバル」に出演。プロの有名アーティストも多数出演するなか、リズム感あふれる曲を次々と披露して聴衆から大きな喝采を浴びました。「私たちの演奏が本場の人たちに受け入れてもらえるのか不安で開演前は随分緊張しました。でも一曲目から拍手や歓声が沸き起り、立ち上がって声援を送ってくれる姿が目には映りました。曲のリズムに合わせて思い思いに楽しんでる雰囲気があると伝わり、会場と自分たちが一体化していくのがわかりました。それでリラックスして思い切り演奏できました。」

普段、仕事の合間をぬいながら、週一回の定例練習や定期演奏会のほか、昨年からは県外のバンドとの交流も行っているというジャズに魅せられたメンバーたち。このジャズ・フェスティバルのほかにも渡米中には、芸術大学のジャズ学科で指導を受けたり、学生との交流演奏会に出演したり、また名ギタリスト、ブルース・フォアマンが出演するライブハウスで演奏するなど最高に充実した日々を過ごしてきました。「向こうに行く前は『こんな経験は、一生に一度だろうね』と言っていたメンバーが帰国するなり、口をそろえて、『絶対もう一回優勝してアメリカへいくぞ』ですからね。今回の晴れ舞台はこれからの活動に大変刺激になったみたいです。」メンバーの意気込みを話しながら、思わず笑みがこぼれる岡本さん。複雑なメロディーのなかにも人間的な暖かみを感じられるそんなジャズの素晴らしさを、一人でも多くの人に伝えようと次のステップへのエネルギーは充電完了です。

不思議かな 手品からくり

E.S.S.A.Y



富山アマチュア・マジシャンズクラブ

代表

高沢 滋人

今日では、クリスマスのファミリー・パーティに、マジックは欠かせない存在です。

奇術の起源は古代エジプトに始まるのですが、日本では江戸時代に「南京手妻」が人気を呼び、明治には洋行帰りの松旭濟天一が西洋奇術を披露し「水芸」を完成させ、大正・昭和にその弟子・天勝はレビュー形式をとり入れ「魔術の女王」として君臨しました。

小学校5年生のとき、大道手品で「変化のトランプ」を買ったのが病みつき。図画や手工が得意であった私は、その頃はやった忍術映画や探偵小説のトリックに興味をもち、天勝の華麗なショーに空想を馳せたものです。

私はほとんど独習で技術を会得し、自己流の演出を考えました。求めた本も50数冊、なかには昭和2年発行「奇々妙々手品種明し」定価35銭や18年の「奇術の世界」(初版本)定価2円50銭など、貴重なネタ本もあります。昭和29年に天勝魔術団と名乗る一座が来富、その後も天洋や天功の大舞台を拝見。歌謡ショーの前座の奇術師と楽屋で交歓し、また印度大魔術団などが来日すれば上京したものです。

奇術の世界では、思う存分の夢を楽しむことができます。奇術は単なるコマカシではなく、常識の虚をつく錯覚美化の芸術です。視覚的なものよりも、心理的なものが強いので

す。しかも科学の進歩に平行する永遠性をもっています。想像から創造へ、世はアイデア時代とて、固定観念をひっくり返す思考こそ、奇術の本質なのです。

「タネも仕掛けもありません」という前口上は、暗示をかけたもので、奇術とタネは切っても切れない関係にあります。ところがタネを知っても演技が下手では効果はあがりません。よく器用な人でなければといわれますが、それよりも好奇心とユーモアのセンスがあればOKです。要はタネと手順を正確に知り、それをよくよく練習していけば、誰にでもできるのです。

身近にある1本のロープが、「アッ!」といわせる意外性を生み、自分もみんなも楽しませ、笑いをかもすところに、アマチュア奇術のだいご味があります。また技術を善意銀行に預託し、明るく社会づくりに奉仕できることも喜びのひとつです。もちろんアマだからといって失敗は許されません。芸の道はきびしいのです。30年前クラブの発表会で「人体交換」や「美女空中浮揚」など、大仕掛けのモノも演じましたが、やはり基本はスライハンド・マジック(手品)にあります。

人にやさしい手品——さあ、あなたも、不思議の扉を開けてください!



「ぶつけよう君の真剣!」を合言葉に

プレ技能五輪フォーラム

初の地方開催として、来年、富山県で予定される第三十二回技能五輪全国大会。その気運を盛り上げるため、プレ技能五輪フォーラムが十月二十一日、富山市民プラザで開かれました。

近年、技能労働者不足が問題となってきたなかにあつて、技能五輪全国大会は、若い技能者たちに目標を与え技能水準を高めるとともに、技能者の社会的評価の向上に役立てようとする狙いで毎年開催されています。フォーラムでは、中沖知事が、このフォーラムを契機として、働きたいと生きがいを感じてくれる大会にしたいとあいさつ。続いて今年の全国大会に出場する富山県選手団壮行会が行われ、中沖知事から団長の戸田清一県職業能力開発協会会長に団旗が手渡されました。

その後、三菱総合研究所取締役相談役の牧野昇氏が「働きたいのある職業生活と技能が尊重される社会の実現に向けて」と題し基調講演。続くパネリストスカッシュンでは、四人のパネリストに牧野氏がアドバイザーとして加わり、若者の製造業離れやモノづくりの重要性を討論。会場では多くの若者がその一言一言を熱心に聞き入っていました。



▲会場ロビーでは優秀作品が展示



よりよい看護のために海外研修

第1回「看護の翼」派遣

県内の保健・医療・福祉機関に勤務する中堅看護職員を海外に派遣する第一回「看護の翼」の一行三十一名が、十月十五日から四日間の日程で韓国を訪問しました。この派遣事業は、看護職員が国際的視野を広めるとともに県内の保健医療の向上を目的として、今年度から初めて実施されました。

派遣団は、カソリック医科大学江南聖母病院と大韓看護協会を親善訪問し、韓国の看護の現状を視察。また、韓国民族村や高麗青磁の窯元の見学、礼智院花嫁学校での韓国の礼儀作法の実習やキムチ作りなどを通して韓国の風俗・文化に触れ、団員相互の交流を深めていきました。

今回の成果を踏まえ、一人でも多くの看護職員がよりよい看護に努めていけるように、今後とも、「看護の翼」事業を継続していく予定にしています。



◀景福宮



▲キムチ作り



とやま国際環境会議

主催：環境庁・富山県・富山市 共催：(社)海外環境協力センター・(財)とやま環境財団



地球規模で考える環境問題

とやま国際環境会議●開催



「とやま国際環境会議」が、十月二十六日から三日間にわたり富山市の名鉄トヤマホテルで開かれ、アジアを中心とした世界十二か国と世界銀行など三つの国際機関の専門家や各道府県の関係者など約三百人が参加しました。

この会議は、昨年ブラジルで開催された地球サミットのフォローアップの一環として開かれたもので、シンポジウムや酸性雨に関する専門家の会合などが行われました。シンポジウムでは、地球環境保全に向けた自治体の国際協力や地域の環境保全活動のあり方について、また、延べ五回開かれた専門家会合では東アジア地域で関心の高まっている酸性雨への対策や環境への影響などについて活発な意見交換が行われました。最終日には、東アジアの酸性雨被害観測ネットワークづくりを目指して各国共通の観測ガイドラインを策定していくことが確認されました。

当会議を通じて、参加者は、地球環境保全に向けて、国や立場の違いを越えた協力体制づくりの重要性を再認識していました。

日露友好の新たな1ページ 富山アピール採択

日露極東知事会議



日本とロシア極東間における地方レベルでの交流の現状と展望を話し合う初の日露極東知事会議が、十一月九日と十日の両日、宇奈月町で開催されました。

会議には、両国の政府関係者のほか、富山県をはじめ日本海側を中心とする十六都道府県、またロシア極東地方からは沿海地方など五地方・州の知事等が参加。開会に先立ち行われた歓迎レセプションでは、細川首相のメッセージが披露された後中沖知事が「両国の交流を進め、日本海が平和と発展の海になることを願う」とあいさつ。クラスノヤロフ・サハリン州知事が乾杯を主唱し、両国の参加者が和やかに懇談しました。

会議は、地方交流全般、文化交流、技術支援、経済交流をテーマとした四つのセッションで討議が進められました。二日間にわたるセッションを通して、両国知事等から地域間交流の現状が報告されたほか、協力関係推進のためのさまざまな課題や解決策などについて終始活発な討議がなされました。

最後に、この会議を第一回として、毎年一回を目途に会議を継続して開催し、日露間の地域交流の中核として発展させていく決意を表明する「富山アピール」を採択して閉幕しました。会議終了後の共同記者会見では、「日露の歴史の中に新たな一ページを開く会議となった」（中沖知事）、「第二回会議はイルクーツクで開く用意がある」（ヴァシリエフ・イルクーツク州知事）など、今後の日露友好関係の進展に大きな意義のある会議となったことが確認されました。

- 12月2日 12月定例県議会(～17日)
第8回イメージディレクター懇談会
- 12月8日 新とやま女性プラン策定記念シンポジウム
- 12月9日 「障害者の日」キャラバンキャンペーン
- 12月15日 いきいき富山冬の旅観光キャンペーン(～3月15日)
- 12月18日 立山山麓スキー場オープニングフェスティバル
県立中央病院第2期工事起工式
国民文化祭基本構想検討委員会
わたしたちの壁画'93展(～3月10日)
- 1月5日 若者代表知事懇談会
- 1月7日 「福祉の店」10周年記念フェスタ
- 1月15日 雪美の広場・スノーアートとやま'93(～2月28日)
- 1月18日 スポーツ振興懇談会
- 1月19日 第5回2000年国体等懇話会
- 1月26日 第1回富山県民スポーツレクリエーション祭冬季大会
「雪のシンフォニー」
- 1月31日 省資源・省エネルギー運動富山県民大会
- 2月4日 常陸宮同妃両殿下ご来県(～9日)
- 2月7日 第3回花と緑の冬のフェスティバル(～15日)
- 2月13日 日本海博物館(仮称)基本構想策定委員会
「県産材振興計画」及び「林業担い手対策」に関する報告書の提出
- 2月23日 うるおい環境とやま賞顕彰式
2月定例県議会(～3月24日)
- 2月24日 県立近代美術館企画展「美との対話'93」(～4月11日)
- 3月20日 TOYAMA NOW in原宿(～24日)
ねたきり防止国際セミナー
砺波社会保険事務所落成式
第1回ジャパンエキスポ富山'92協会解散式
- 3月23日 県庁前公園花時計始動式
- 3月25日 全国都市緑化とやまフェア準備委員会事務局開設式
- 3月29日 第32回技能五輪実行委員会事務局開設式
- 4月1日 富山県立大学入学式
- 4月8日 いきいき富山観光キャンペーン'93オープニングフェスティバル
- 4月11日 富山県防災情報システム竣工式・記念シンポジウム
- 4月12日 県立中央病院院外処方せん発行ジミー・カーター元米国大統領来県(～14日)
- 4月13日 農村環境整備シンポジウム
- 4月14日 富山空港第1期国際線旅客ターミナルビル竣工式
- 4月21日 河川情報システム竣工式
- 4月22日 富山・ソウル便就航記念式典
- 4月26日 太閤山ランドエキスポ記念施設開園式
- 4月27日 県西部地方拠点都市地域第1次指定



▲映像センター開設(6/10)

来年四月の県立大学の大学院の開設及び、平成八年度開催の国民文化祭に向けて準備を進めました。また、来年十一月のオープンに向けて新川文化ホール(仮称)の建設を進めるとともに本県の文化振興の基本的方向を明らかにする文化プランの策定に取り組みました。

いきいき長寿財団の事業や老人クラブ活動を支援したほか、新たに高齢者バス教室を実施して、生きがいと健康づくり施策を推進しました。また、県民のゆとりの創造や余暇環境の整備を図るため、ゆ・と・り推進富山県民会議と連携しながら、余暇ビジョンを策定するとともに、余暇名人等の発掘に努めました。

科学・文化の振興

生涯学習の推進
来年少催予定の第六回全国生涯学習フェスティバルに向けて準備を進めるとともに、映像の時代に対応した新しい生涯学習の場として、六月に県生涯学習カレッジにハイビジョン等を活用した映像センターを設置しました。
学校教育については、県立高等学校に新たに福祉コースを二校設置したほか、十一月には、第三回全国産業教育フェアを開催し、産業教育の一層の振興と活性化に努めました。

生涯学習の推進

東アジア(黄海・日本海)をめぐる富山県友好の船'93として青年・婦人を中国、韓国、ロシアへ派遣して、友好親善を深めるとともに、友好の船の回航を活用し、小・中・高校生と高齢者の富山県ふれあいの船'93を実施しました。
また、若者の定着と県外人口の流入、子供を産み育てやすい環境の整備などを検討する人口問題懇話会を設置しました。

若者と女性の力を社会に

いきいき長寿財団の事業や老人クラブ活動を支援したほか、新たに高齢者バス教室を実施して、生きがいと健康づくり施策を推進しました。また、県民のゆとりの創造や余暇環境の整備を図るため、ゆ・と・り推進富山県民会議と連携しながら、余暇ビジョンを策定するとともに、余暇名人等の発掘に努めました。

長寿・余暇社会への対応

ボランテア基金の増額を行うとともに老人保健福祉計画や福祉の中核を担う総合福祉会館(仮称)の基本計画の策定に取り組みました。健康づくりでは、新たに糖尿病ケアモデル事業を実施したほか、エイズ対策推進協議会を設置して正しい知識の普及等に努めました。
また、砺波社会保険事務所が完成し、四月から業務を開始したほか、県立中央病院では、四月から院外処方せんを発行するとともに診療棟の改築整備を進めました。その他、富山医科薬科大学看護学科の開設に協力するとともに、新たに看護の翼を実施するなど、看護職員の人材確保を図りました。
インターハイや二〇〇〇年国体の開催に向けて、富山県漕艇場が六月に、また全国初の九コーストラックを採用した県総合運動公園陸上競技場が十月に供用を開始したほか、県営プールの建設や西部総合体育館(仮称)の基本計画の策定に取り組みなど、県営スポーツ施設の充実に努めました。
また、県民の健康・体力づくりの一環として第一回県民スポーツ・レクリエーション祭冬季大会を開催しました。

健康・福祉の増進

富山県立大学入学式
いきいき富山観光キャンペーン'93オープニングフェスティバル
富山県防災情報システム竣工式・記念シンポジウム
県立中央病院院外処方せん発行ジミー・カーター元米国大統領来県(～14日)
農村環境整備シンポジウム
富山空港第1期国際線旅客ターミナルビル竣工式
河川情報システム竣工式
富山・ソウル便就航記念式典
太閤山ランドエキスポ記念施設開園式
県西部地方拠点都市地域第1次指定

明日を拓く人づくり

今年、置県110周年を迎えた富山県は、先人の英知と努力によって豊かさや暮らしやすさにおいて今や全国トップレベルの評価を受けるにいたりしました。先人によって築き上げられてきた業績をしっかりと受け継ぎ、さらに実りある成果を加え、来るべき21世紀に引き渡すことが、今後の大きな課題となっています。
富山県では、未来を洞察する明確なビジョンを持ち、これを着実に実行していくために新富山県民総合計画に基づき、「人材立県」「生活立県」「国際立県」の三つの立県構想を掲げて、個性あふれる諸施策を展開してきました。今回は「明日を拓く人づくり」「魅力ある郷土づくり」「活力ある産業づくり」の三大政策に沿ってこの一年を振り返ってみましょう。

健康・福祉の増進

ボランテア基金の増額を行うとともに老人保健福祉計画や福祉の中核を担う総合福祉会館(仮称)の基本計画の策定に取り組みました。健康づくりでは、新たに糖尿病ケアモデル事業を実施したほか、エイズ対策推進協議会を設置して正しい知識の普及等に努めました。
また、砺波社会保険事務所が完成し、四月から業務を開始したほか、県立中央病院では、四月から院外処方せんを発行するとともに診療棟の改築整備を進めました。その他、富山医科薬科大学看護学科の開設に協力するとともに、新たに看護の翼を実施するなど、看護職員の人材確保を図りました。
インターハイや二〇〇〇年国体の開催に向けて、富山県漕艇場が六月に、また全国初の九コーストラックを採用した県総合運動公園陸上競技場が十月に供用を開始したほか、県営プールの建設や西部総合体育館(仮称)の基本計画の策定に取り組みなど、県営スポーツ施設の充実に努めました。
また、県民の健康・体力づくりの一環として第一回県民スポーツ・レクリエーション祭冬季大会を開催しました。

特集 県政、この一年



県総合運動公園 陸上競技場開園(10/1)



アジアナ航空 富山-ソウル線就航



▲ソウル便就航(4/26)

今年、置県110周年を迎えた富山県は、先人の英知と努力によって豊かさや暮らしやすさにおいて今や全国トップレベルの評価を受けるにいたりしました。先人によって築き上げられてきた業績をしっかりと受け継ぎ、さらに実りある成果を加え、来るべき21世紀に引き渡すことが、今後の大きな課題となっています。

富山県では、未来を洞察する明確なビジョンを持ち、これを着実に実行していくために新富山県民総合計画に基づき、「人材立県」「生活立県」「国際立県」の三つの立県構想を掲げて、個性あふれる諸施策を展開してきました。今回は「明日を拓く人づくり」「魅力ある郷土づくり」「活力ある産業づくり」の三大政策に沿ってこの一年を振り返ってみましょう。



▲平成6年度全国高等学校総合体育大会県民推進大会(10/2)



▼富山県漕艇場竣工(6/26)



▲第一回富山県民スポーツレクリエーション祭冬季大会「雪のシンフォニー」(1/31)

- 4月28日 第44回富山県植樹祭
- 4月29日 いきいき富山まるごと東京あったかチューリップの湯
銀座みゆき通りチューリップカーベット
- 5月2日 富山県ふれあいの船(～5日)
- 5月6日 東アジア(黄海・日本海)をめぐる富山県友好の船'93(～21日)
- 5月7日 平成5年度「とやま賞」贈呈式
- 5月9日 「看護の日」ふれあいトーク
- 5月18日 新湊漁港東西連絡道奈呉の浦大橋竣工式
- 5月19日 沿海地方友好提携1周年記念事業(トヤマデー)
- 5月26日 消費者月間記念富山県大会
- 5月27日 北陸新幹線建設促進富山県民総決起大会
- 5月28日 知事のまちなまり(氷見市)
- 6月5日 県展(～11日)
- 6月10日 「映像センター」「学習サロン」開設式
日韓地域間交流促進のためのセミナー
- 6月15日 6月定例県議会(～29日)
- 6月16日 県栽培漁業センタークロダイ生産施設竣工式
第1回人口問題懇話会
頼成の森水生植物園竣工式
皇太子殿下ご成婚記念植樹
- 6月19日 富山県漕艇場竣工式
- 6月26日 平成5年度地域づくりリーダー養成塾開講式
- 7月1日 第5回富山国際現代美術展開会式(～9月15日)
- 7月3日 日本心のふるさとを守り育てる飛越協議会総会
富山県・岐阜県知事懇談会
富山県緑化推進県民会議
- 7月5日 JWFプレフォーラム
- 7月9日 第1回環日本海インターハイサッカー親善交流大会(～23日)
- 7月12日 全国生涯学習フェスティバル準備委員会設立総会
- 7月21日 富山くすりフェア(～31日)
- 7月26日 宇奈月国際会館「セレネ」竣工式とやま・ふくおか家族旅行村開村式
富山県未来財団発足
- 7月30日 全国高校ユネスコ大会
- 7月31日 富山県刊行物センターオープン
- 8月2日 日本海博物館(仮称)基本構想策定委員会報告
- 8月7日 '93出会いふれあいの道フェスティバル
- 8月10日 信州博覧会「富山県の日」
- 8月13日 ジャパン ワイルドライフ フェスティバル'93「～こども地球学校～」(～22日)
- 8月19日 エキスポとやま博1周年JET記念フェスタ
- 8月28日 障害者雇用促進大会
- 9月6日 第5回全国勤労者綱引大会
- 9月12日 9月定例県議会(～29日)
- 9月13日 天皇賜杯第48回全日本軟式野球大会・高円宮同妃両殿下ご来県
- 9月17日 富山空港開港30周年・空の日記念事業(～23日)
- 9月19日 平成5年度海外派遣報告展(～26日)
- 9月25日

沿海地方友好提携1周年▶
記念事業(トヤマデー)(5/19)



日露極東知事会議
(11/9～10)

北陸新幹線については、昨年の石動・金沢間に続いて十月に糸魚川・魚津間の建設工事起工式が行われ、本格着工の運びとなりました。今後も全線整備の明確化が図られるように働きかけていきます。富山空港では、四月に国際線旅客ターミナルビルが竣工し、国際空港としての大きな一歩を踏み出しました。引き続き夜間駐機のための整備を進めます。

新湊大橋(仮称)については事業化のための調査に着手したほか、テクノスパーライナーの導入について基礎調査に取り組みました。

このほか、高度情報通信ネットワークを活用し、四月から新たに河川情報、防災情報システムの運

交通・情報通信体系の整備

十月には県営ダムとしては最大規模の境川ダムが完成しました。今後、桂湖及びその周辺をレクリエーションの新しい拠点とするための検討を進めていきます。

初めての国際定期便である富山・ソウル便が四月に就航したことに伴い、ソウルに相互交流の窓口として海外事務所を設置したほか、六月には日韓地域間交流促進のためのセミナーを開催するなど、韓国との交流を推進しました。

また対岸諸国に対する理解を深めるため、環日本海映画祭を開催したほか、各国の高校生を招いて、七月にサッカー、十月には陸上競技の環日本海インターハイを開催しました。

この他、沿海地方との友好提携1周年を記念してウラジオストクで、トヤマデーを実施し、伝統文化の紹介などにより、相互の理解を深めたほか、十一月には、初めての日露極東知事会議が宇奈月町で開催され、文化、経済などの交流の現状と将来の展望について活発な意見交換がなされました。

国際化時代への対応

用を開始しました。



▲北陸新幹線糸魚川市・魚津市間建設工事起工式(10/13)



▶境川ダム竣工(10/7)



▶第1回環日本海インターハイサッカー親善交流大会(7/21～23)

海王丸パークの整備を進めるとともに、八月には、環日本海時代のシンボル施設となる日本海博物館(仮称)の基本構想を策定するなど日本海ミュージアム構想を推進しました。また、立山カルデラ砂防総合展示施設の基本計画の策定に取り組みました。

県土の保全と活用

また、新たに県民から公募するふるさとの眺め再発見事業を実施したほか、平成8年度の全国都市緑化とやまフェアの開催に向け諸準備を進めました。四月には東京一極集中を正す地方拠点都市地域に県西部地域が指定されました。

▼中央植物園開園(10/1)



▶頼成の森水生植物園竣工(6/19)



▲富山空港第1期国際線旅客ターミナルビル竣工(4/21)



▶日韓地域間交流促進のためのセミナー(6/10)

魅力ある地域づくり

花と緑の県づくりのシンボル施設となる中央植物園が十月に開園したのをはじめ、専門植物園である頼成の森水生植物園や、林業試験場樹木園が相次いで開園するなど、植物公園のネットワーク化を進めました。

また、新たに県民から公募するふるさとの眺め再発見事業を実施したほか、平成8年度の全国都市緑化とやまフェアの開催に向け諸準備を進めました。四月には東京一極集中を正す地方拠点都市地域に県西部地域が指定されました。

快適な暮らしの実現

安全でやすらぎのある生活環境づくりを進めるため、ゴミの減量化や再生利用対策を推進するとともに、十月には環境庁と共催で環境問題における国際協力のある方や地域環境保全活動等について協議するとやま国際環境会議を開催しました。

また、第二次の交通安全緊急対策として、交通信号機の増設、交差点の改良、道路照明の整備などに積極的に取り組みました。

魅力ある郷土づくり

- 10月1日 富山県総合運動公園陸上競技場開園式
富山県中央植物園開園式
食品研究所10周年式典
とやまテクノフェア'93(～4日)
環日本海貿易交流センター推進事務局の設置
- 10月2日 平成6年度全国高等学校総合体育大会県民推進大会
第1回環日本海インターハイ陸上競技親善交流大会(～3日)
- 10月6日 第9回富山県青樹祭
- 10月7日 境川ダム竣工式
大規模林道・朝日-大山線起工式
- 10月8日 林業試験場樹木園開園式
第1回伝統医学セミナー
- 10月11日 環日本海映画祭(～17日)
- 10月12日 まなびピアとやま'94イベント第5回県民カレッジフェスティバル
- 10月13日 北陸新幹線糸魚川市・魚津市間建設工事起工式
第1回看護の翼(～18日)
- 10月15日 知事のましまわり(福岡町)
プレ技能五輪フォーラム
- 10月20日 とやま国際環境会議(～28日)
- 10月26日 日本海国土軸推進大会
- 10月28日 知事のましまわり(小矢部市)
一日部長辞令交付式
- 10月29日 日露極東知事会議(～10日)
- 11月8日 一日部長による一日庁議
- 11月9日 第3回全国産業教育フェア(～21日)
- 11月17日 富山技術開発財団設立10周年記念事業
- 11月18日 第9回イメージディレクター懇談会
- 11月19日
- 11月30日



▲富山県刊行物センターオープン(8/2)



▲エキスポとやま博一周年JET記念フェスタ(8/28)



▲TOYAMA NOW in原宿(3/20～24)

施策の実施のために

県民に開かれた県政を推進するため、県政バス教室や新聞、テレビなどを通じた広報活動を充実したほか、八月には、県の刊行物を広く普及するため、県民会館内に富山県刊行物センターを設置しました。

週刊誌、地下鉄広告などを活用するとともに引き続きTOYAMA NOW in原宿を開催したほか、自然や野生生物をテーマとした映像の祭典

県民会館内に富山県刊行物センターを設置しました。

エキスポとやま博一周年を記念してJET記念フェスタを装いも新たに開園した県民公園太閤山ランドで開催するとともに、未来を拓く人材の育成など、地域の発展に寄与することを目的に富山県未来財団が発足しました。



▲宇奈月国際会議館「セレネ」竣工式(7/30)



いきいき富山まるごと東京あつたかチューリップの湯(4/29)



▲プレ技能五輪フォーラム(10/20)



▲環日本海貿易交流センター推進事務局設置(10/1)



▲富山くすりフェア(7/30～31)

活力ある産業づくり

新世紀への産業展開

環日本海地域における貿易と投資に関する情報提供体制の整備を図るため、十月に環日本海貿易交流センター推進事務局が設置されました。

また、富山八尾中核工業団地の拡張や、小矢部南部丘陵企業団地の環境現況調査に取り組み、企業立地基盤の整備を図りました。

集落営農体制を一層推進するため、カントリイエレベーター等の基幹施設の整備に助成したほか、快適な農村環境の創造に努める目的で、新たに富山県農村環境創造基金を造成しました。また県栽培漁業センターにおいてクロダイ生産棟が完成し、つくり育てる漁業の振興を図りました。

農林水産業の振興

工業の振興

工業技術センターにおいて先端技術開発に積極的に取り組んだほか、技術ワンランクアップ事業を実施して中小企業の技術開発力の強化を支援しました。また緊急経営支援資金、地域産業対策資金等の制度融資の大幅な拡充など景気対策に積極的に取り組みました。

その他、和漢薬やバイオテクノロジーなどの新分野の研究開発を進めたほか、伝統医薬シンポジウムや富山くすりフェアの開催を支援しました。

商業・サービス産業の振興

八月にオープンした宇奈月国際会議館「セレネ」の開館記念イベント等を支援するなどコンベンションの振興を図りました。

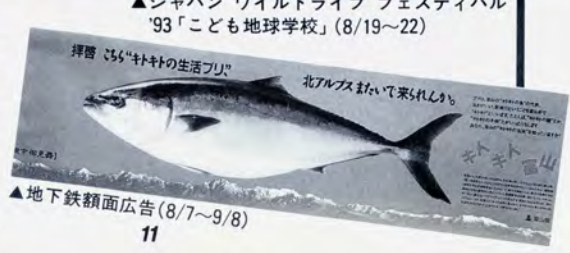
また、いきいき富山観光キャンペーン十周年記念イベントとして、四月にいきいき富山まるごと東京あつたかチューリップの湯の開催を支援するとともに、韓国海外旅行博覧会や国内の博覧会等に出展参加し、観光と物産の宣伝活動を実施しました。

雇用と勤労者福祉

東京Uターン情報センターに相談補助員を配置し、機能を充実したほか本県出身者への情報提供等を通して県内就職やUターンの促進に努めました。民間団体等が受け入れる外国人研修生に導入研修等を引き続き行うほか、初の地方開催となる来年の第三十二回技能五輪全国大会に向けて、十月に、プレ技能五輪フォーラムを開催しました。



▲ジャパン ワイルドライフ フェスティバル '93「こども地球学校」(8/19～22)



▲地下鉄額面広告(8/7～9/8)

憧れ

〈厳冬の裏剣岳〉

天にたつ剣の山々は

古人たちは畏れながら

雲を裂く刃の峰々に

今人たちは挑みながら

白き雄姿の気高さに

ただ 憧れてきた

pin UP TOYAMA pin

撮影／赤羽仁論

歴史と文化探訪の館

富山県民会館分館 金岡邸&内山邸

レポーター・大田 紀子(ミスマリーン)

売薬文化が見えてくる

富山県民会館「金岡邸」

富山県の伝統産業のひとつとして全国に知られる「富山売薬」は、元禄時代・富山藩二代の藩主前田正甫の頃に始まったと言われ、三百年の長い歴史があります。

今回は、明治初期の薬種商の店舗を復元し、薬業資料を展示している富山県民会館分館「金岡邸」と、十三代にわたり四百五十年も続いた豪農の館「内山邸」をレポートしていただきました。

薬種商であった金岡家は売薬の原料を加工し、業者に供給することを主な仕事としていたそうです。

店舗内には大変貴重なジャコウシカのはく製が飾られていますが、この香囊から製造されるじや香は伝統的医薬品の主要原料としてとても高価なものでそうです。

店先から奥へ入っていくと、見たこともないような売薬に関する貴重な資料がたくさんありました。約百五十種類の生薬原料の標本を展示しているコーナーでは、せみのぬけがらなど薬の原料になるなんて信じられないようなものもあり、薬効を聞いたび驚いたり感心したり。昔の人の知恵って本当にすごいなと思いました。

「いらつしやいませ〜」そんな声がかえりきそう金岡邸の店構え。明治初期の金岡薬店をできる限り復元したという店舗内には当時の姿をした人形が迎えてくれるので、思わず「反魂丹をくださいな」なんて言ってしまうそうです。

また、薬を手作業で作って



▲売薬展示室には珍しいものがいっぱい

いた当時の製造器具の展示コーナーでは私も薬づくり(?)に挑戦。製丸師の気分を味わいましたが、けっこう重い器具に昔の人はずいぶん肩がこったことだろうと思いました。

そのほかにも、売薬さんの姿を思い浮かべることができる当時の懸場帳や売薬版画などの品々や貴重な文獻、そして郷土に偉大な功



▲金岡邸正面

◀額の「柳原草堂」は内山家の別称

績を残した金岡家四代の資料など、富山独自の文化ともいべき売薬の歴史を学ぶことができ、富山と薬との切っても切れない関係を改めて痛感しました。

そして、文化催事室として利用できる新屋で、日本情緒たっぷりの庭の眺めを十分堪能し、金岡邸を後にしました。

●金岡邸案内図



内山邸の正面に立つと、豪農とはいえ、「これが本当に農民の住まい？」と思うほど立派な屋敷構えにまず驚きました。

内山家は、富山藩の命で神通川の中州を新田開発した大百姓で、代々の当主は村々を監督し村役人までも支配する力を持っていたそうです。

大部分が慶応四年に建てられたという屋敷内に入ると、いろいろ部屋のほか居間、座敷部屋、大広間などいくつもの部屋があり、また明治期の政治家や文人との交流から生まれた貴重な文化遺産である書画や民族資料などが展示され、当時の内山家の繁栄ぶりがかがえました。特に漢詩や茶道を好んだ十二代内山外川は、表座敷や書院、茶室、そして広大な庭に財を注ぎ込み、風流の粋を尽くしたそうです。

風流の粋を尽くした豪農屋敷「内山邸」



表座敷の外では、手水鉢の水がジャリ石に流れるとてもきれいな音がして、そのような所にも昔の人の風流な心配りが感じられました。

た。そして、月見台に立ち、多くの種類の庭木や名石を配した広大な庭園を眺めているとその趣に心が奪われていくようでした。

紅葉の色づく季節、そしてだれ桜が咲き誇る季節が見ごろということですが、四季折折の彩りの中で、その当時の人たちに想いをこめてはいかがでしょうか。

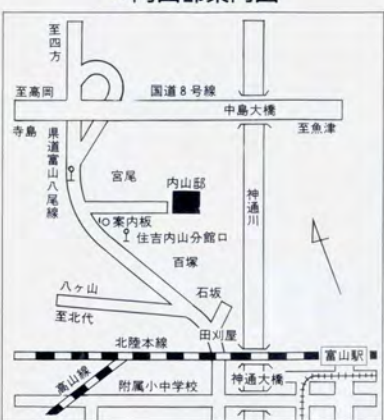
▼表座敷にある手水鉢の前で



▲庭園から見る内山邸

大部分が慶応四年に建てられたという屋敷内に入ると、いろいろ部屋のほか居間、座敷部屋、大広間などいくつもの部屋があり、また明治期の政治家や文人との交流から生まれた貴重な文化遺産である書画や民族資料などが展示され、当時の内山家の繁栄ぶりがかがえました。特に漢詩や茶道を好んだ十二代内山外川は、表座敷や書院、茶室、そして広大な庭に財を注ぎ込み、風流の粋を尽くしたそうです。

●内山邸案内図

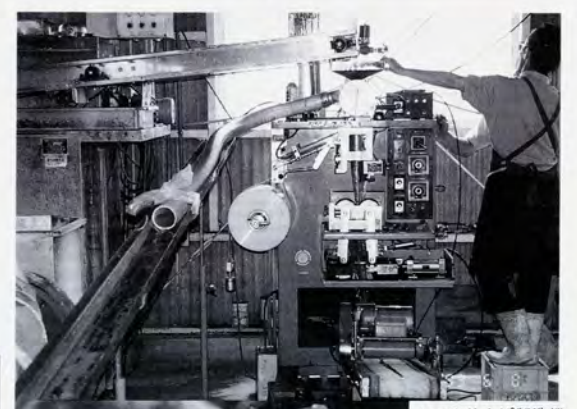


ふるさと みてある記

●上市町●

■上市町の概要 人口 23,716人(10月1日現在、
東人口統計調査より) 面積 236.77km²

北アルプスの霊峰剣岳の登山基地である馬場島には、キャンプ場等の施設が整う剣岳青少年旅行村がある。環境庁の名水百選に選定されている「穴の谷の霊水」は、霊験あらたかと思われ、大岩山日石寺とともに、県内外からの観光客が絶えない。



▲つるりんば製造機



穴の谷の霊水とこんにやくが ドッキング

こんにやくソーメン「つるりんば」



▶北アルプス整のみなさん

全国にその名を知られる穴の谷の霊水。その名水入りのこんにやくソーメンが、今年五月、町の異業種交流グループ北アルプス塾によって開発された。上市町商工会の生駒さんと勝原さんに話を伺った。「町の活性化のためには、まず特産品を作ることが必要だと考えたんです。町民から名水を活用するアイデアを募集。それをグループで実現させたのが「つるりんば」である。「つるりんばは、ヘルシー食品なんですよ」低カロリーで食物繊維

やカルシウムを豊富に含むこんにやくを、あっさりとした味で手軽に食べられる。満腹感も得られるのでダイエットには最適である。奇跡の水といわれる穴の谷の霊水の効用もあるのかもしれない。

「ソーメンのような喉ごしになるよう細くするの苦労しましたね」しかしそこは異業種グループの強みを発揮して専用の製造機械を開発。また原料のコンニャクイモも町内で調達できるよう農家や地元の高校に栽培してもらったことになった。

「また町おこしへの第一歩を踏み出したばかりです」こんにやくを使った第二、第三の商品も現在開発中という北アルプス塾。町おこしへの挑戦から今度はどんな新しいものが生み出されるのか期待したい。

明治・大正時代の空気が 漂っていた

民具収集家 山本豊一さん



◀蓄音機・ラジオ・電話など

そこには何十年前にも使われていた生活用品が静かに並び、昔の暮らしが目の前に浮かんでくるような空気が漂っていた。「若い頃から古びた物を集めるのが好きだったんですよ」と語るのは東種地区の山本さん家の近くの、昔は公民館だったという建物へ案内してくれた。そこに入ると歴史の教科書に出てくるような農具や山仕事に使う道具、ワラ工品などが並べられていた。二階には、明治・大正時代の陶器、衣服、電話などの生活用品がずらりと置いてあり、暗い電灯も手伝ってか、その部屋に陥ってしまったほどである。全部で四百種類ぐらいいありますかね。他

にもダルマの置物や仏教画、古本なども持っていますよ」山本さんは、六十年以上かけて周辺の集落や古物商などからこつこつと集めてきたという。改装や新築する家に出かけて行って処分されそうな古い民具などを譲り受けることも多いそうだ。「こうした品物もその時代の暮らしを知る意味で残していくことが大事じゃないかと思っています」これからは集めた物を整理して冊子にまとめる作業に取り組んでいくそうです。完成すれば貴重な資料となるに違いない。

北アルプスのように雄大な ハーモニイを奏でたい

北アルプス吹奏楽団



◀部長の宮崎さん(左)と指揮者の伊藤さん(右)

「社会人になってからも好きな吹奏楽を続けることができて嬉しいですね」と口を揃えて語るのには、北アルプス吹奏楽団の部長の宮崎さんと指揮者の伊藤さん。この楽団は、昭和六十年に北アルプス文化センターが完成したのを契機に、同センターの協力を得て結成された。メンバーは高校を卒業するまで吹奏楽部に所属していた人たちで、平均年齢は二十一歳と若い。毎

年秋に開かれていた町の音楽祭のほか、さまざまなイベントにも出演している。「文化センターに来ると楽しくて仕事の疲れも忘れますね」この楽団の自慢は、毎週二回の練習にいつも三十人以上のメンバーが集まること。それがレベルの向上やチームワークの良さにつながっている。「最近はやりの曲もほとんどレパートリーに取り入れています」この楽団では、歌謡曲からポピュラーな吹奏楽曲まで数十曲はいつでも演奏できるように練習を積んでいるそうだ。「来年は結成十年で初めての楽団単独での演奏会を開く予定にしています」これまで培ってきた実績をベースに、さらに大きく飛躍しようとしている北アルプス吹奏楽団。メンバーの心が一つとなった素晴らしい演奏の響きは、ホールいっぱい観衆を魅了していくだろう。



熱心に マスゲーム練習



来年、開催される平成6年度全国高等学校総合体育大会（インターハイ）の総合開会式は平成6年7月31日、富山県総合運動公園陸上競技場で開かれます。

県実行委員会では、総合開会式を高校生のスポーツの祭典にふさわしく、明るく、たくましく、はつらつとした躍動感あふれるものとし、富山県の特徴を十分生かした演出とするため、諸準備を進めています。

その一環として、総合開会式の華である公開演技・式典音楽のためのマーチング、マスゲーム、吹奏楽、合唱、放送等の練習会が行われています。

去る11月9日には、小杉町民体育館で、県下6校の女子高校生約900人による公開演技のマスゲーム練習会が行われました。参加した高校生たちは、それぞれ真剣な表情で富山の四季をイメージした踊りの練習に取り組んでいました。



〈大会テーマ 決まる〉

開催期間 平成六年十月六日(木)から十日(月)の五日間
開催地 富山市・高岡市・黒部市・砺波市・小杉町

十月二十七日(水)、全国生涯学習フェスティバル第二回準備委員会・第一回実行委員会が開催され、基本構想（基本理念、基本方針、大会テーマ）・基本計画概要案が承認され、大会テーマは「高志のくからひろがる学び」に決定しました。開会にあたり、中沖知事から「富山県全体を学習のステージとしてこれまで富山県が取り組んできた活動の成果を、全国に発信していきたい」との挨拶がありました。

「高志のくからひろがる学び」

〈趣旨〉

こし（越 高志）のくには、古代北陸地方の総称である。県民総参加のもと、富山の学び心と実践の姿が全国のすぐれた学習活動と交流することによって、「よく学び よく生きるよるこび」の新しい発見と感動がこども、世界に未来にひろがっていくことを願ったものである。

全国のモデルになるようなフェスティバルをめざして

―とやま独自の方法で 全国に発信―

【基本理念】と【基本方針】

本フェスティバルは、人々の学びを一層ひろげるため、フェスティバル（祭り）が本来持つ、連帯を深め、未来を創造する力を、とやま独自の方法で湧き立たせ、二十一世紀を展望した人と地域の新しいあり方を高らかに提言するイベントにいきます。

●第六回全国生涯学習フェスティバル

まなびピア とやま'94



今年の税金は今年のうちに 【12月は納税強調月間です】

そろそろ年の瀬も迫ってきましたが、まだ納め忘れの税金はありませんか。もし、ありましたら、お手元の納税通知書又は納付書をご持参のうえ、最寄りの金融機関又は県税事務所でお早めに納めてください。

なお、12月29日(水)から1月3日(月)までの間、県税事務所の窓口業務を休ませていただきます。年末に税金を納められる方は、金融機関をご利用ください。

(なお、今年から金融機関は、12月31日が休業となりますので、ご注意ください。)

県税の納税窓口は

県内の銀行、信用金庫、農協、漁協、信用組合又は県税事務所まで納めてください。

●県税の所管区域図(平成5年4月1日現在)



県税の取扱い・相談は

県税についての相談や苦情がありましたら、お気軽に下記の県税事務所までご連絡ください。

事務所等	所在地
富山県税事務所	富山市舟橋北町1-11 ☎(0764)41-2551
自動車税センター	富山市新庄町馬場39-6 ☎(0764)24-9211
高岡県税事務所	高岡市赤祖父211 ☎(0766)21-9411
魚津県税事務所	魚津市新宿10-7 ☎(0765)24-5311
砺波県税事務所	砺波市幸町1-7 ☎(0763)33-5151
富山県総務部税務課	富山市新総曲輪1-7 ☎(0764)31-4111

★国の税金は税務署へ
市町村の税金は市役所または町村役場へ



人々が働き、学び、憩い集うまち。いきいきとした、ゆとりとやすらぎのあるまちを創るためには、まちの主人公であるあなた自身が、「わがまち」に対する関心を深めることが大切です。

いま、「まちの表情や、まちを舞台とした人々の活動」をテーマとした写真を募集しています。みなさんもこの機会に「わがまち」を見つめ直してはいかがでしょうか。応募締切り 平成6年1月15日

問合せ 県庁都市計画課 ☎0764・44・3346

国際時代にふさわしい 人権意識を育てよう

12月4日～10日は
人権週間

世界人権宣言45周年

暴力的な騒音が規制される条例が制定されました

「拡声機による暴騒音の規制に関する条例」が成立し、平成5年11月1日から施行されました。拡声機から10メートル以上離れた地点で測定した音量が「85デシベル」を超える音を出すことが禁止されます。

ただし選挙運動等政治活動や、災害、事故等の警戒活動、国や地方公共団体、学校等の業務、祭礼や運動会等地域の行事などは、除外されます。

詳しくは警察本部までお問い合わせ下さい。

富山県警察本部 ☎0764・41・2211



立山山麓スキー場 オープニングフェスティバル



立山山麓スキー場(極楽坂・らいちょうバレー・あわすの)合同のオープニングフェスティバルを12月19日(日)午前11時30分から、らいちょうバレースキー場に行きます。

佐々成政スキー行列、パラグライダーのフライト、雪恋鍋のサービスや宝さがし等、盛りだくさんのイベントで皆様をお待ちしています。

問合せ
立山山麓スキー場協議会
☎0764・44・2137

第23回 富山県花き品評会

花は、私たちの生活にゆとりと潤いを与え、見る者の目を樂ませてくれます。そんな花の美しさと花づくりの技術を競う第23回富山県花き品評会が、左記のとおり開催されます。

菊を始めとする切花、シクラメン等の鉢物など、20数品目、約150点が展覧されるほか、当日は、冬の草花に親しむ花の講習会や鉢花及び切花類などの即売会もあわせて行われます。ぜひ、ご来場下さい。

期間 平成5年12月11日(土) 午後1時～4時
12日(日) 午前9時～午後3時

場所 富山県花総合センター(エレガガーデン)
砺波市高道46番3 (☎0763・32・1187)

問合せ 県農産園芸課(☎0764・31・4111 内線3875)
または、県花総合センターまで



親子でみる現代美術
「まなぶ あそぶ 美術の世界」
●富山県立近代美術館 ●93年12月18日(土)～94年1月30日(日)

一見、不可解で難解なものに見えがちな今日の美術。しかし、少しのきっかけやヒントがあれば、だれにも親しめる美術表現であることがわかります。

親子でみる現代美術「まなぶ あそぶ 美術の世界」展は、こうした現代の美術を大人はもとより子どもたちも興味をもてる親しみやすいものにと考え、企画した展覧会です。わからない美術＝現代美術という先入観を捨て、親子で美術の世界にふれてください。きっと新しい発見があるはずですよ。

観覧料 一般 200(160)円
高・大学生 160(100)円
小・中学生 100(60)円
()内は20人以上の団体

詳しくは、富山近代美術館(0764)21・7111
までお問い合わせ下さい。

- 10月11日 環日本海映画祭(~17日)
丘の夢牧場ビーフフェア'93
- 10月12日 まなびピアとやま'94プレイベント 第5回県民
カレッジフェスティバル
- 10月13日 北陸新幹線糸魚川市・魚津市間建設工事起工
式
- 10月15日 第1回看護の翼(~18日)
知事のまちなまり(福岡町)
- 10月16日 第10回特産王国とやまフェスティバル
(~17日)



- 10月17日 富山くすりフェア(~18日)
- 10月20日 プレ技能五輪フォーラム
- 10月21日 総合衛生学院戴帽式



- 10月22日 第27回富山県職業能力開発フェア(~23日)
- 10月26日 とやま国際環境会議(~28日)
- 10月28日 日本海国土軸推進大会
- 10月29日 知事のまちなまり(小矢部市)



- 11月2日 富山県功労表彰式



- 11月8日 一日部長辞令交付式
- 11月9日 日露極東知事会議(~10日)

受講生募集

情報工房パソコン教室

社内報・町内会報がやさしく作成できる
(パソコンで作るミニコミ紙教室)

- 内容 DTPソフトで紙面の編集制作実習
- 日時 1月10日(水)・11日(木)・12日(金) 午前3日間
- 定員 16名(申込み順に受け)
- 受講料・教材費 無料
- 場所 富山県情報工房パソコン研修室
- 問合せ・申込み 富山市高田527
富山県情報工房 ☎0764・44・7887

富山県埋蔵文化財センター
企画展「富山の縄文土器」

一部近年の
発掘調査速報展

県内の遺跡から出土した縄文土器とそれに関連する資料を展示し、人々の生活の中で土器が果たした役割を探ります。あわせて近年の発掘調査の速報展を行います。

【期間】 平成5年10月26日(火)から平成6年5月26日(木)まで
【休館日】 土曜日、日曜日、国民の祝日、
年末年始(12/28~1/4)

【入館料】 無料
※詳しくは、富山県埋蔵文化財センターへ
(☎0764・34・2814)

平成6年
1月街頭献血日程

日 曜	献 血 場 所	時 間
5 水	富山市役所前	9:00~16:00
	高岡市役所前	9:30~15:30
6 木	砺波市役所前	10:00~16:00
7 金	新湊市役所前	9:30~15:30
11 火	小矢部市役所前	10:00~15:30
15 土	富山西武デパート前	10:00~16:00
	JR高岡駅前	10:00~15:30
16 日	富山西武デパート前	10:00~16:00
17 月	入善町役場前	12:30~15:30
22 土	魚津市「サンプラザ」ショッピングセンター	10:00~15:30
28 金	宇奈月町役場前	12:30~15:30

※都合により変更する場合がありますので、当日の新聞・テレビの街頭献血案内等でご確認ください。
◎富山県赤十字血液センターでは、毎土曜日の午後も開所し(祝祭日除く)、献血を受け付けています。
富山県赤十字血液センター 富山市飯野26-1 ☎(0764)51-5555

「ゆっくり走ろう 雪のふる里 北陸路」



北陸3県統一
年末の交通安全
県民運動の実施
12月11日(土)から12月20日(月)まで

- 1、若年運転者による無謀運転の防止
- 2、高齢者の交通事故防止
- 3、シートベルト着用徹底
- 4、迷惑駐車車の追放

を重点目標に年末の交通安全県民運動を実施します。

年末は、交通の混雑、降雪(積)等により道路状況が悪化するほか、飲酒の機会が多くなることや、気ぜわしさも加わって例年交通事故が多発します。交通ルールとマナーを守って、年末を無事故で送り、笑顔で新年を迎えましょう。

年の暮れみんなで守ろう明るい社会

年末防犯運動 / 12月21日(火)~12月31日(金)

- ◎年末防犯のポイント
- 外出するときは、必ずカギをかける習慣を身につけましょう。
- 銀行等で多額の現金を出し入れするときは、充分気を配りましょう。
- 訪問販売等の場合、すぐに飛びつかず、よく考えて、おかしいと思ったら、警察に通報しましょう。

年末は、何かと気ぜわしく、ちょっとした不注意で、思わぬ事件や事故に巻き込まれてしまうことがあります。このため、警察では、年末防犯運動(年末警戒)を展開し、繁華街や多くの人出が予想される場所を中心にパトロール活動を強化することになっています。防犯は、皆さん一人ひとりの心がけが大切です。地域で行われる防犯パトロールなど各種防犯活動に積極的に参加し、県民総ぐるみで犯罪のない明るい地域社会の実現に努めましょう。



年末年始の
雑踏事故防止

年末年始の各種催し物や初詣などは、大変混雑が予想されます。お出かけになる方は、明るく清々しい年末年始となるように次のことに心がけましょう。

- 行列への割り込みや、押し合いはやめましょう。
- 階段や坂道、狭い出入り口は特に危険です。慌てずに、ゆっくり歩きましょう。
- お年寄りや子供は転びやすいため、周りの人は、いたわってあげましょう。
- 車の割り込み等、他人に迷惑をかける行為はやめましょう。
- 泥酔して、混雑する場所へ出かけないようにしましょう。

みなさんの
相談窓口

交通事故については
富山県交通事故相談所 富山県庁1階
☎(0764)31-4111内4400

相談110番
家庭問題・悪質商法・冤せいのりなど、どんな相談にも応じます。
☎(0764)42-0110

シルバー110番
高齢者や家族の心配ごと、悩みごとに富山県高齢者総合相談センター
富山市舟橋南町5-14
社会福祉会館内
☎(0764)41-4110

表紙 撮影/滝川邦彦(日本写真家協会会員)
表2 エッセイ/高沢 滋人
P1 ひと/フィールド・ハラール・ジャズ・オーケストラ
P2 クロージング
①看護の翼
②プレ技能五輪フォーラム
③とやま国際環境会議
④日露極東知事会議
特集/県政、この一年
PIN UP TOYAMA
撮影/赤羽 仁論
とやま遊学感/県民会館別館金岡 邸&内山邸
ふるさとみてある記/上市町 高校総体を成功させよう⑤
まなびピア'94の概要②
県からのお知らせ



十一月十八日から二十一日まで、県内三会場で全国の職業科の高校生が参加して第三回全国産業教育フェアが開催されました。イベントの一つであるファッションショーには井波高校家政科の皆さんも参加。着物の着付けや艶やかな着物を披露して、会場を多に盛り上げていました。

県政については
県民相談室 富山市新総曲輪1-7(県庁内)
☎(0764)31-4111代
31-3131(県民相談電話)

高岡地方県民相談室 高岡市赤祖父211(総合庁舎内)
☎(0766)21-9411代

魚津地方県民相談室 魚津市新宿10-7(総合庁舎内)
☎(0765)24-5311代

砺波地方県民相談室 砺波市幸町1-7(総合庁舎内)
☎(0763)33-5151代

物価ダイヤル
物価に関する苦情や相談があればお気軽にお電話ください。
☎(0120)16-7400(県庁県民生活課内)

消費生活については
消費生活センター
富山市安住町7-18
安住町第一生命ビル内
(一般相談は)
☎(0764)32-9233
(金融相談は)
☎(0764)33-3252
消費生活センター高岡支所
高岡市本丸町7-1
本丸会館内
☎(0766)25-2777

県からのホットニュース 見て、聞いて、ご意見をお寄せください。

TV
テレビ広報
●チューリップテレビ 毎週土曜日AM9:30~9:45 「志の輔のふるさとトーク」
●富山テレビ 毎週日曜日 AM9:00~9:30 「112万人のひろば-クイズ/フォーカス-イン」
●北日本放送 毎週日曜日AM11:00~11:30 「こんには富山県です」
12/5 私たちのふるさとづくり⑧
12/12 花と緑がいっぱい
12/19 まなびピアとやま'94
12/26 県政、この一年

RADIO
ラジオ広報
●FMとやま 「ふれあいホットライン」
県内各地からホットな話題をクリアなサウンドでおとどけます。
毎週月~金曜日 AM9:50~9:55

NEWS PAPER
新聞広報
●北日本、富山、読売、北陸中日、朝日、毎日
毎月第2、最終土曜日
「県からのお知らせ」

集記 編後
広 報誌担当になってから無我夢中で取り組んで来た一年間。まさに私にとって県政の一年ならぬ広報の一年でした。一人旅が好きで吟遊詩人M.O君、ジャズ好きが高じて自らサクソフーンをボーイ吹くK.O君、愉快なM.U君、牧歌的雰囲気を漂わせるO君、バリバリの三十……いや二十代のA君、一年間取材お疲れ様。来年もがんばりましょう。(K)

本 当はダルマ収集の話をおおうと上市の山本さんの家を訪ねたのだが「ダルマよりこつちを見て行ってほしい」といきなり言われかなり戸惑った。みてある記の取材では、思惑と全く違う話が出てくるのが多々あるのだが、それがこのコーナーの取材の面白さのどと最近ようやく思えるようになった。(A)

早 いものでもう師走。くる年を待ちこがれつつ、ゆく年に名残惜しさをおぼえる。

そこでこの一年を振り返り、我が家の三大ニュースはと考えてみたら……
(1)一年間の研修で富山に来たこと、
(2)アルペンルートをはじめ、県内をくまなく巡ったこと、
そして、
(3)三才になった息子の話津軽弁に、富山弁がまじってしまったこと……だった。(O)



魚の天気図②

今話題の魚

真冬は鱈鍋・初夏の鮫汁

たらはたらでも

北陸の冬は、グルメの季節である。おいしい刺身がそろい、うまい焼魚も多い。寒い夜は鍋物も良い。たら鍋はどうであろう。

へたらたらと 汗をふくいの御献上 北陸の「寒鱈」は、「天然氷」とともに、越前福井藩主から將軍家への献上品であった。

グツグツと煮るたら鍋のあっさりとした味は格別。たらの脂質は1%未満だが蛋白質は16%と多く、滋味あふれ、心まであったまる。

たらの旬は冬。その肉の白身とあわせて「鱈」と書く。大きな胃袋をもち、雑食・肉食の魚である。エビ・カニ・イカ・タコ・カレイに貝と手あたり次第に口に、空腹の時は共喰もする。

深海の魚で、餌が少ないから食いだめしておかねばならず、驚異的な消化力を持つ。たらふくになるまで、やたらに食うから、胃潰瘍の鱈が多い。

食欲も旺盛だが、性欲も強い。冬期・二月末までに放卵し、オス・メス入り乱れて受精する。四、五歳から産みはじめ、一腹に数百万粒の卵を持ち、生涯に十回くらい産卵する。このため、一匹のメスは五千万粒も放出することになるが、成長できるのはわずか数尾というのが現状

である。

「雪道とたら汁は あとほどいい キク(白子)やキモ(肝臓)を入れたたら汁は、冬もいいが、富山では初夏の風物詩。宮崎浜や四方浜は有名である。こちらは、たらはたらでもスケトウダラ、」と書く。中層魚で、底魚ではないのに「底」は変?

マダラ(鱈)は、たんにたらと呼ぶが、スケトウの方は「佐渡」と「助宗」の両方あり、韓国では「太魚」、中国は「明太魚」、富山では「きじ」だを略して「きじら」と言う。

「梅雨」ときによく獲れ、また「へおつゆ」にしてうまいという両方から「つゆだら」とも呼ぶ。

たら汁は鱈で、たら鍋は鱈なのである。富山湾でとれるたら科は、マダラ・スケトウダラ・コマイの三種類。特徴は、
○背鰭が三基・臀鰭が二基——と多く
○下あごにひげがある——北方系の魚(下図参照)。コマイは「突鱈」と書き、上あごが長い(鱈は下あごが長い)ので鱈に近縁の魚である。鱈・鮫に比べて、獲れ高も少なく、味も劣るので問題にされない。

「逝く歳や チリ鍋の湯げあたたかく



絵・文 津田武美

富山空港からの
冬の旅
 この冬、どのようにリフレッシュしようかと考えているあなた。富山空港を利用した冬の旅はいかがでしょう。
 北海道の白銀の世界を楽しむもよし、韓国の歴史や文化に触れるもよし、ソウルを経由してハワイのビーチでのんびり過ごすもよし。
 友人や家族連れで心がポカポカになるような思い出をつくってみませんか。



北海道



ソウル



HOKKAIDO
 HAWAII



ハワイ

SEOUL

空から“くじら”がこんにちは



12月13日から15日の3日間、特別デザイン機「マリンジャンボ Jr.」が定期便として全国で初めて富山空港にお目見えします。鯨をデザインしたカラフルな機体は、見る人の目を十分に楽しませてくれることでしょう。